

4月
2020年

151号

地域共創・未来共創の大学へ

広 沖繩大学 報

発行

沖縄大学経営企画室

〒902-8521 沖縄県那覇市宇国場555

☎ 098(832) 2910

<http://www.okinawa-u.ac.jp>



ふくと
沖大
2020年4月
号：50(456)

新入学生へのメッセージ

新入生のみなさん。入学おめでとうございます。

これからみなさんの大学生活が、ここ、沖縄大学で始まります。

ところで、時間は相対的です。みなさんもよく経験があるように、つまらない話を聞く1時間はとてつもなく長く感じられ、友人との楽しい語らいはたとえ半日でもあつという間に過ぎ去った感じがします。

さて、みなさんにとって、大学生活の4年間は、どのような時間として感じられるものになるのでしょうか。私自身もかつて4年間の大学生活を送りました。今思うと、かなり「長い」4年間だったように思います。それは苦痛だったからではなく、自分がその中で大きく変化を遂げた4年間だったからではないのかと思います。

高校生までの、与えられた課題をこなしていけばそれですんでしまう日々から、自分で課題を見つけ出す日々への変化。自分よりずっと「大人」に見える同級生や先輩との出会い。漠然としか考えていなかった将来を、具体化していかなければならないことへのあせりと、思わぬ機会からの実際の社会へのつながり。そうしたもろもろの出会いが、私にとって、新たな私との出会いを作ってくれました。

みなさんにとっても、本学が、あらたなみなさん自身との出会いの場となることを願っています。

2020年度 沖繩大学×NEW×挑戦

2020年度より法経から「経法商」へ名称が変わります！

「地域共創・未来共創の大学へ」の理念の下、沖繩大学は、常に沖繩の現状を把握し、地域で活躍する人材育成が使命であると大学改革を進めてきました。法経学部においても、すでに「法律行政」「経済経営」「地域社会」という3コース制へと学部内の再編を行ってきました。今回さらに法律、経済、経営という社会の基礎的な専門分野を横断的に学びつつ、学生が将来、地域で活躍していくことを支援する学部・学科であることをより明確にするために、学部長改称を行うことになりました。学部の使命を見つめなおし、これまでの歴史を受け継ぎながらも、あらたな学びを作り出していく志をもって、「経法商」という新名称で、学部・学科は再スタートをします。沖繩大学は100年大学をめざし、大学改革、学部改革など、様々なチャレンジを展開していきます。

FC琉球との包括連携協定スタート！

2020年2月27日、本学と琉球フットボールクラブ株式会社との包括連携協定に関する協定書の調印式を行いました。

本学は創立以来地域に根ざした大学であることを目指し、地域の自治体とも包括連携協定を結んで活動を進めてきました。地域連携の活動をより具体化していくために個々の企業体の方々とも包括連携を結び協同を進めていければと今回、琉球フットボールクラブ株式会社との協定が実現する運びとなりました。今後は本学福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻を中心とした連携事業やFC琉球の方を講師に迎えた実践教育を行っていくことを予定しています。



2020年度後期、WEBサイトがリニューアルします！

経営企画室ではウェブサイトのリニューアルに向け、準備を進めています。大学からの情報発信について、これまでとは違ったアプローチの必要性を感じていたため、制作会社の選定には時間をかけましたが、最終的には立教大学等、評判の良いウェブサイトを多数手がけた実績のある(株)ロフトワークに決定しました。また、サイトリニューアルに合わせ、新たなロゴマークも制作することになりました。普段とは違った視点で大学を見直し、「沖繩大学ならではの」価値のある魅力を再構築し、これからの時代に求められる広報の在り方を模索していきたいと考えています。(担当:経営企画室兼島主幹)

新たな駐車場を増設！

学生数増加に伴う駐車場の確保が課題となっていました。近隣の土地を取得し、整備を行い新たな駐車場が3月に完成しました。新駐車場(長田第4駐車場)はやんばるの食堂の後ろに位置し、73台収容可能です。利便性を高めるとともに、本学は地球環境への配慮も考慮したエコキャンパスを目指す大学としての立場から、公共交通機関の利用促進に向けての取り組みも強化していきます。ご協力ください。



[3月5日に行われた完成セレモニー]

新任教職員紹介

2020年度新たに7人の新任教員、2人の職員を迎えます！

ご縁があって、沖繩大学の教員として勤務させて頂くことになりましたこと、大変光栄に思います。私はスポーツ社会学を専門とし、メディア・スポーツが生成する意味や価値について研究をしています。例えば、高校野球がどのような報道を通じて「汗と涙の青春物語」としての意味をまっとうしていくのか、ドキュメンタリー番組の分析から検討したりしています。平成元年生まれの30歳で、まだまだ教員者としても研究者としても「ひよっこ」ですので、親身に学生に寄り添いつつ、教育という相互作用の中で共に成長していきたいと思っています。



中山 健二郎
人文学部 福祉文化学科教員(スポーツ社会学)

自己紹介と抱負

みなさま初めまして、本年四月より経法商学部の講師に着任することになりました。ご縁があって、本学の教育・研究に携われることを非常に喜ばしく思っております。どうぞ宜しくお願いします。私の専攻は、商法・会社法です。担当科目は、会社法商取引法になります。商法・会社法は、社会人経験のない学生にとってはやや難解な分野かと思われます。ただ、本学学生に限らずほとんどの大学生は、卒業後に、会社ととりわけ、株式会社という組織に所属することになるかと思えます。社会に出た時に、授業で得た知識や理解が役立つような講義ができるよう心掛けたいと思います。



谷口 友一
経法商学部 経法商学科教員(商法・会社法)

着任にあたっての抱負

今年度から沖繩大学経法商学部に着任する津川修一です。沖繩には10年以上前に家族で行って楽しかった思い出があり、そういう場所で働くことができると嬉しく思います。私は主に「ミクロ経済学」と「公共経済学」に関わる講義を担当します。「個人・企業の行動を簡潔かつ論理的に考えることができる」ことに重きを置いて経済学を教えます。さらに、経済学の考え方を習得するだけでなく、経済学の視点から政府の役割・政策や財政政策について考えることも、冷静かつ明解に社会問題を考えようという意味で重要です。けじめをつけつつも楽しく経済学を一緒に学びましょう！



津川 修一
経法商学部 経法商学科教員(経済学)

着任にあたって



着任にあたっての抱負
 人文学部 福祉文化学科教員(哲学・倫理学)
西章

2020年4月1日に沖繩大学福祉文化学科に専任講師(哲学・倫理学)として着任しました西章と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

「屁理屈をこね回す難解な学問。これが「哲学」に対して一般人ひと抱えている印象ではないでしょうか。たしかに哲学は「難解」ではあります。しかし決して「屁理屈をこね回す学問」ではありません。というのも「ああでもない、こうでもない」と考え続けるなかで、自分が捕われている偏見を批判的に問い直し、新たな地平を開く、ここに哲学を学ぶ意義があると考えているからです。したがって学生の皆さんがそのことを少しでも実感できるように授業を行いたいと思っています。



支援につながる学びを
 人文学部 福祉文化学科教員(相談援助実習指導)
平野 貴大

今年度より福祉文化学科に着任いたしました。社会福祉士、精神保健福祉士という相談援助職の養成に関わる授業を担当させていただきますことになりました。

私の専門である社会福祉の分野は、さまざまな人の生活をより良い形で支援するために、何ができるのかを考え、実践していく実践的な学問となります。そのためには、地域のこと、人のことなど、さまざまなことを知り、考え、学ばなくてはなりません。微力ではありますが、沖繩大学で地域共創・未来共創のため、学生とともに社会福祉について、考え、学ぶことができればと考えております。



着任にあたって
 健康栄養学部 管理栄養学科教員(食品衛生学)
下地 みさ子

数十年前は私自身も栄養学を学ぶために県外の管理栄養士養成大学へ進学した学生でした。修士・博士過程修了後、九州にあります管理栄養士養成大学に勤務しました。沖繩へ戻ってからは、ポストドク研究員または管理栄養士として社会で働くことで大学では経験できないような様々なことを学びました。ですから、沖繩大学に管理栄養学科が開設されて沖繩で管理栄養士養成に携われることは、私にとってもこの上ない喜びです。私なりの経験を基に、沖繩県に根付く管理栄養士養成のために力を注ぎたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



着任にあたって
 人文学部 福祉文化学科教員(地域福祉)
朴 賢貞

初めまして、韓国から参りました朴賢貞(パクヒョンジョン)と申します。沖繩はいつか必ず行きたいと思っていたところでした。1997年7月1日に東京に留学生として来て、社会福祉学 地域福祉専攻を日本社会事業大学で修士及び博士課程を修了し、長岡や仙台で介護福祉士や社会福祉士を目指す学生を13年間指導してきました。

沖繩出身の学生も一人担任したことがあり、とても優しく温かい学生でしたのでここで新しい学生との出会いがとてもわくわくします。また、沖繩の土地に合う地域福祉の事を学生と一緒に学び研究したい気持ちでいっぱいです。長寿県とも言われている沖繩で地域を基盤に実践している医療保健福祉の連携教育などに関心があり、地域の専門職との連携を大事にしていきたいです。連携教育は海外でもっと進んでおり、イギリスや欧米の国々の実践を学生の教育にも取り入れて沖繩で実践できる事を探し研究及び教育したいと思っています。これから新しい生活で希望も不安もありますが、どうぞ宜しくお願い致します。



学生及び教職員の健康面をサポートしていきます
 新入職員
高良 美乃里

私は沖繩県浦添市の出身です。看護師、特別支援学校での養護教諭の職を経て、今年度より沖繩大学の保健師として採用されました。沖繩大学の学生及び職員の方が、日々、元気に生活できるように、健康面のサポートをしていきたいと思っています。

また、私にとっては新たな地でのスタートとなります。期待と不安でいっぱいですが、沖繩大学で、学生さんたちに負けないぐらい、沢山の刺激を受け、自分自身も成長することを、とても楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひします。



ごあいさつ
 新入職員
仲村 圭史

はじめまして。4月より沖繩大学へ採用されました、仲村圭史(よしひさ)と申します。前職の大学事務を経験したことで、大学事務職員に興味を抱きました。その中で今回採用試験を受け、採用をいただいたことに感謝しております。今回職員と言っても、様々な職があり、学生との関わりのみならず、教職員の皆様とも円滑に物事が進められるよう、コミュニケーションを大切にしながら頑張っていきたいと思っております。まだまだ未熟で、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

退職者紹介



退職に際し
 法経学部法経学科
川崎 和治

沖繩大学に帰属を認められてから15年の歳を重ねました。この間、大過なく過ごせたのは、本学の人的資源の秀逸さに因るものと感謝しています。

既卒ゼミ生からの要請で行った小さな最終講義は私の大きな宝物となっています。入学年度を異にする既卒ゼミ生達が縦横つながり雄々しく生き延びている様を観ることができたのは、教員として最高の喜びでした。

沖繩大学が、多種多様な粒の種を温かく育み開花させる大地であつて欲しい。これまでもそうであつたように、これからも。ありがとうございました。



退職に当たつて
 人文学部国際コミュニケーション学科
木村 英紀

この度32年間勤めてきた沖繩大学を去るようになりましたが、やはり人生のおよそ半分を過ごしてきた職場を去るというのは感慨深いものがあります。1988年に赴任して以来、出会つた学生たち、そしてお世話になつた教員や職員の方々の顔が浮かぶのは消えていきません。

いろいろなことがありましたが、この字数では語りきれません。ただ、人文学部の開設や大学院、こと文化学科の新設など私なりに情熱とエネルギーを注いだものもありました。最後に、凡庸な教育者であり研究者でしかなかった私を支えて下さつた大学内外のさまざまな人への心からの感謝の言葉を述べ、沖繩大学の益々の発展を祈りたいと思います。



人生100歳時代、更なる夢とロマンを求めて
 人文学部福祉文化学科
上地 武昭

2000年4月1日に人文学部講師に採用されてから19年、そして2019年4月1日からの特任教員の1年間、あつという間の20年間の教員生活であつた。振り返ると走馬灯のように教室での講義や演習、そして現場実習、学生達と色々取り組んだ宿泊研修や離島研修等が頭をぐるぐる。楽しく充実した教員生活であつたと実感する。

教職員や学生達に感謝、感謝である。これからは大学教員で取り組めなかつた福祉現場での実践や地域活動を含めて「第二の人生」を謳歌したいと考えている。人生100歳時代、夢は更に広がつている。熟年の夢とロマンを求めて生きていきたい。色々ありますがどうぞよろしくお願いいたします。



退職にあたって
 人文学部福祉文化学科
下村 英規

宗教の倫理や哲学者の道徳ではなく、20世紀は科学が行動の規範をもたず、と100年以上前に語られたのは、度重なる児童虐待を前にして、不幸になる子供の出生を防ぐことでの問題を解決しようとしたエレン・ケイ(児童の世紀 1900年)だ。もちろん彼女は、受胎に関する科学が遺伝子決定論や優生思想に転がらないように細心の注意を払が、しかし、社会は意図されない方向へ歩んだ。「する思想」だけではない、古典語に特徴的な「中動態」による表現が相応しいヴォイスが、むしろ「社会」の実相をなしている。

だから、その構造や力学を明らかにしようとする社会科学が必要だし、その中で生きる人間性を探究し続ける人文科学と、自然に深く切り込みそのメカニズムを解明する自然科学が求められる。21世紀は、これらの統合による新たな位相の知を産出しなければならないが、これが「都合主義的な「学際的知」であつては困る。特殊個別な存在に對峙しつつ、生を導く規範となり得る普遍的な知の創出が、研究者の義務であり、矜持でもある。



学生が沖縄大学 オリジナル バスマップ 作成しました!

2019年にわたつた〜バス党に加盟した沖縄大学。駐車場問題の改善策や那覇にある利便性を活かした通学手段の拡充を考えるきっかけにと学生を中心とした沖縄大学オリジナルバスマップの製作に取り組みました。運転免許を取得していない入学生や運転に自信がないという学生のみなさんに少しでも公共交通機関を活用してもらえようバス路線はもちろん、近隣のお店の紹介、バス利用についての心構え等を掲載した携帯しやすいバスマップになっています。新入生にはオリエンテーションで配布予定のほか、学内で配布しますので是非ご覧ください。



左から福祉文化学科3年次
池原千波さん、志藤真央さん、橋口風伍さん



取材して掲載内容は学生が決定、
バスマップ作成業者さんと何度も打合せを行いました

「自家用車が便利」という認識をどう超えていくのか、悩ましい思いがありました。しかし今までのバスマップの改善、バス利用者に限らないターゲット設定、こだわりよりも使い勝手を求めるなど、沖大生に向けた内容に仕上げました。そしてこれだけでは終わりません。大学周辺の魅力発信やバス利用促進のために、地域紹介のサイト作成やバス通学者にむけた学食割引サービスなどプロジェクトを進めています。ご期待ください。福祉文化学科社会福祉専攻3年次 橋口 風伍さん



福祉文化学科玉木千賀子ゼミの取り組み 地域のお年寄りの人生に寄り添い『聞き書き本』 1冊の本に仕上げました。

玉木ゼミでは地域や施設で医療・福祉サービスを利用している方々に生活史のインタビューを行い、一冊の本にまとめてお贈りするという「聞き書き本」の製作に毎年取り組んでいます。話を聞くことで、QOLが驚くほど高まるなど、施設職員の方からも評価をいただいている活動です。今年度は大学近隣に住むお年寄りを対象にお話を伺い、その人の人生を1冊の本にまとめました。完成した本を手にとられた方々は「一生の宝物」とみなさんと喜んでくれました。また、本のお礼にと、おはぎ作りを教わったり、ウチナーグチや人生において大切なことなどもお話くださったりと貴重な交流の場となりました。「人生の先輩の話はとても貴重で、沖縄の昔の生活や文化を知る機会となり多くの学びの時間となった」と学生たちも感想を述べていました。

(※QOLとはQuality of Lifeのことで、「生活の質」と訳すこともあり、治療や療養生活を送る人間の肉体的、精神的、社会的、経済的、すべてを含めた生活の質を意味します。)



2019年12月17日屋嘉比久代さんからの聞き取り



3月11日
池田みちこさんに完成した本を
お届けしました。



2020年2月22日に開催された日本社会事業大学
同窓会沖縄県支部の公開研究会にて、活動報告
もしました。参加者からは学生の取り組みに激励
の声が多く寄せられました。

こども文化学科 伊集 海斗さん
(株式会社サンエー)

大学1年次のときからアルバイトをしていたサンエーへの想いがどんどん高まり、就職を決めました。大学生活は勉強に真剣に取り組む仲間たちに恵まれたことや、模擬授業等を通し教壇に立ち授業を行う等、この学科で養えた力はとても大きかったと思います。



法経学科 稲家 菜美さん
(株式会社沖縄銀行)

沖縄銀行でインターンシップを行い、社風等に惹かれてからは合同説明会のときには、いち早く沖縄銀行ブースに行き、笑顔で質問をしては名前を覚えてもらうようにしたりと、やる気や熱意をアピールしました。村上先生の金融の講義でかなり知識を身に付けることができ県内5大学との合同講義「金融塾」にも参加し、沖縄の金融について理解を深めたりもしました。



こども文化学科 續 真理子さん
(福岡県警専門捜査官)

こどもの教育だけでなくその親や多くの人に役立つ仕事について考えるようになり、みんなの安心安全に繋がる仕事に就きたいと思うようになったことや留学経験から韓国語を活かした仕事などを模索していくなかで、専門捜査官という夢が明確化していきました。猛勉強して叶った夢、安全を守り、頼もしく、温かい警察官になりたいです。



内定者のメッセージ

国際コミュニケーション学科 平方 菜々子さん
(JAL日本航空株式会社)

就職活動は1年次から就職支援課に情報を頂きながら、エアライン専門のスクールにも通っていました。小さい頃からの夢(客室常務員)を叶えたいと必死でした。沖大に入学し中国語や韓国語に出会えて、全てが自分にプラスになり、就職活動にも有利になりました。

学生が成長できる大学

沖縄大学では各種試験対策等も含めた就職支援を行っています。履歴書の作成や面接対策に加え公務員専門学校LECと同じ講義が費用の負担なしで学内で受講できることも魅力のひとつです。卒業した就職内定者の声をお届けします。



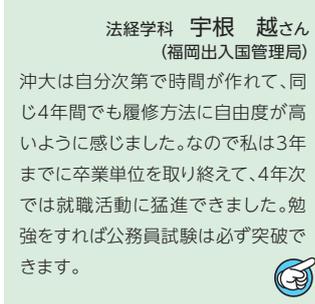
福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻 奥村 一輝さん
(株式会社琉球銀行)

入学当初から現役で就職を決めたいと思っていたので、公務員試験の勉強や、民間企業を視野に入れてなど活動は早めにスタートさせました。就職支援課に週に2、3回通い相談をして30社ほどを企業研究し、最終的には琉球銀行に目標を定めました。金銭面の理由で夢を諦める子どもがいなくなる社会づくりや沖縄経済の発展のために働きたいです。



こども文化学科 上原 真菜さん
(電通沖縄)

4年間でたくさん良い仲間に出会えました。仲間のがんばる姿を見て、就職活動に挑む力、踏ん張る力も得られました。150倍の難関を突破し内定を頂けたので、必ず沖縄を盛り上げる広告をつくりたいです。



法経学科 宇根 越さん
(福岡出入国管理局)

沖大は自分次第で時間が作れて、同じ4年間でも履修方法に自由度が高いように感じました。なので私は3年までに卒業単位を取り終えて、4年次では就職活動に猛進できました。勉強をすれば公務員試験は必ず突破できます。



法経学科 屋良 光弥さん
(沖縄県警察官)

高校2年生から勉強をはじめました。親戚や友人に警察官の人がいてその影響です。高校3年生の時は1日14時間、大学に入ってからはずっと勉強は継続してきました。沖縄大学には弁護士の方がゲストティーチャーを務める講義等もあって、学びを深めることもできました。



就職支援課 課長
上原 将司

沖大の就職支援について

就職というと新入生にとってはだいぶ先の話と感ずるかもしれませんが、4年後の就職に至るまでの道程はすでに始まっています。というのも、何の準備も無しにすぐに希望通りに就職できるほど簡単な世界ではありません。企業研究、企業訪問、業界研究、インターンシップ、面接対策、自己分析などの一連の就職活動を経た上での最終的なゴールが就職ということです。また「学生時代に力を入れたこと」という問いが、いつの間にか履歴書に書く定番の内容になっています。ある意味、学生生活の全てが就職につながっているのです。

時間という平等に存在するものを、就職活動のためにどれだけ割くことができるでしょうか。沖大では限られた就職活動の時間を有意義なものにするため、就職支援課において就職活動の総合的支援を行っています。希望の業界がある方は、その業界にどのような会社があるか、一緒に探してみましょ。客観的に自分を見つめて自己分析をしてみましょ。インターンシップ先企業との調整もお任せください。就活が長引き、悩んでしまうこともあるでしょう。どうやって就活をすすめていいか不安になる時もあるでしょう。そんな時、気軽に就職支援課に相談してみませんか。経験豊富な専門スタッフがあなたと共に「就活」を考えます。就職環境は社会状況に応じて、毎年変化しています。将来的な就職環境に対応するためにも学生時代の早いうちから就職支援課を利用してみてください。

2019年度 卒業式・修了式

3月12日、2019年度沖縄大学卒業式・修了式が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大による影響で開催が危ぶまれましたが検討を重ねた結果、体育館に一堂に介しての式典ではなく各学科、大学院にわかれての卒業証書授与式、修了書授与式が行われました。例年同様、卒業生の華やかで晴れやかな姿と厳かな雰囲気のほか、学科ごとの温かい雰囲気にもまれ無事に執り行うことができました。

4年間の大学生活、交流の深かった仲間や恩師との最後の時間にふさわしい、思い出に残る式となりました。残念ながら授与式には参列して頂けないながらも学内には多くの保護者や家族が集まり、関係者全員で卒業生たちの門出を祝福し、卒業生の新たな飛躍を期待する時間を共有できました。



学長告辞(抄録)

学長 盛口 満

先日、私立の大学で教員をして知る知人と話をする機会がありました。この知人が所属している学科は、国家の与える資格と結びついている目的学科です。その知人が、「最近の学生は、すぐに、コスパっていうんです」と口にすることが、大変印象的でした。その学科の学生たちは、国家試験突破を目標としている。だから、授業をしても、「それは国家試験にできますか」と、つい質問をします。さらに、「もっと効率よく教えてくれ」、ひいては、「もっとコスパのいいことを……」ということになるのだということです。

私はこの話を聞いて、大学でものを学ぶということ、コスパということがどうつながるのか、考えてしまいました。

みなさんはどうでしょうか。みなさんは、大学に入学するときに、あるはっきりした目標をもって入学されたでしょうか。はたまた、

その目標は達成できたでしょうか。はっきりした目標を持たずに入学された人もいるのではないかと思います。また、逆にはっきりした目標をもって入学したものの、その目標が達成されなかったという人もいるかもしれません。

コスパというのは、ある目的を、最短の時間や、最小の時間やお金で達成したほうが「得だ」という考えに基づいていると思います。例えば、私は大学卒業時に、車の免許を合宿免許でとることにしました。合宿でとったほうが、免許取得までの時間が短くて済むと思ったからです。そして、なんとかミスをしないうで、一発で合格できるようながんばりました。運転技術が実際にはそこまで到達できなくても、試験のときだけやりすごせれば、それこそお得だと結果、一発合格で、運転免許を取得することができました。

ただ、私はこの教習所の合宿で、まさに運転免許の取得ということ以外で思い出すことはありません。そこで出会った教官も、誰一人覚えておきたいとは思いません。りたてて会いたいとは思いません。コスパのいい学びというのは、目的の達成以外、何もあとに残らないことになりかねません。加えて、もしその目的も達成できなかったら、まったく何も残らないことになります。

では、大学の学びとは何でしょうか。それは、一言では言えないものではないでしょうか。最初に思い描いていた目的以外にも、いろいろな人や事との出会いがあったのではないのでしょうか。そして、何より、人間は事後的に物事を学び直すことができる生き物です。

大学を卒業して何年もしてから、「ああ、あのことはこのことと結びついているのかもしれない」という発見ができるのが私たち人間の特徴なのです。

ですから、本日、みなさんは大学を卒業するのですが、大学で出会ったことに出会いなおす機会が、これから一生の間、続けることができるのです。今日は卒業の日であります。それとともに、大学で出会ったことに出会いなおす日々の始まりの日ともいえま。そこで、どんな出会い直しができるのかは、それこそ、みなさん一人一人によるものです。

私も大学時代に出会った友人がいます。つい、最近になって、その友人たちのかけがえのなさをあらためて実感しました。

みなさんにとって、この沖縄大学の日々が、何度でも繰り返し意味のあるものとして、問い直されることがあることを願っています。



2019年度 卒業生・修了生特別表彰者

学長特別賞

照屋 一輝

法経学科 (泊高校卒)

学業では優秀な成績を修め、正課外では海外インターンシップに積極的に参加し個別で世界一周をするなど自身のリベラルアーツを高める努力を絶え間なく行ったこと等学内外の活動を精力的に行い数多くの学生団体の代表を務め、他の学生の学生生活の充実へ多大なる影響を与えたことが評価されました。

【受賞しての感想】

このような賞を受賞でき、とても嬉しく思います。沖縄大学のことがとても大好きで、卒業を迎えてとても感慨深いです。大学で得た自信を活かしながら社会に出ても頑張っていきます。沖縄大学の魅力は熱い想いを抱いている教職員が多く、手厚いサポートのなか学生それぞれにステージを用意してくれる大学です。在学生のみなさん、挑戦できる大学で是非有意義な時間を過ごしてください。



嘉数昇記念賞

金城 良樹

福祉文化学科 (南風原高校卒)

本学軟式野球部の活躍の牽引だけでなく、日本大学軟式野球2019日本代表に選出され試合だけでなくグアムにある日本人学校での交流や野球教室の開催など軟式野球の海外普及活動にも取り組んだことが評価されました。



法経学部長賞

屋良 光弥

法経学科 (コザ高校卒)

大城 周作

法経学科 (知念高校卒)



人文学部長賞

金城 音色

国際コミュニケーション学科
(糸満高校卒)

嘉数昇記念賞

上江洲 未咲

法経学科 (南風原高校卒)

五歳から続けている琉球舞踊において在学中に琉球古典芸能コンクールの琉球舞踊最高部門に合格を果たす快挙を成し遂げたことや卒業論文においては琉球舞踊の人口減少とその背景を探ることを目的に調査を行い今後の琉球舞踊の在り方や課題と可能性を多角的に明らかにしたことが評価されました。



人文学部長賞

宮城 かし子

福祉文化学科
(沖縄国際大学卒)



人文学部長賞

名嘉 愛和

こども文化学科
(那覇高校卒)

嘉数昇記念賞

法経学科

豊川ゼミ 一同

観光地での食物アレルギーに対応した飲食店を地図化した「アレルギーフレンドリー対応MAP」を完成させたことや食物アレルギー対応についての認知を高める活動をあわせて実施し、新聞やテレビで報道され多くの反響があったことなどが評価されました。



現代沖縄研究科長賞

宇根 悦子

地域経営専攻

沖大の魅力に迫る！ 沖大散策 vol.2

沖大キャンパスには貴重な美術品等が数多くあります。さまざまな人の思いが込められた作品についてきちんと語り継がれるように、広報誌にて取り上げていけたらと企画しています。今回は3号館警備室隣にある彫刻について紹介します。



沖縄の行事や法事のときに欠かせない御三味(ウサンミ)に入っているコンニャクそっくりな彫刻は、タイトルも作者も不明。まずは過去の広報誌に寄贈のことが掲載されていないかを探したところ 1986年に寄贈という記事を見つけました。作者は上江洲由郎さんとのこと。作品が現在も保存されている浦添市等に連絡先や情報提供依頼をしました。有力な情報を得られず、その後沖縄県立博物館・美術館へ確認したところ、上江洲さんがすでにお亡くなりになっていたことがわかりました。それと同時に本学にある彫刻は 1986年開催の沖展で奨励賞を受賞した作品だということわかりました。上江洲さんは、沖展が開催された年の12月に本学内(市民ギャラリー)にて個展を開催し、その縁から本学への寄贈の運びとなったようです。



調査を進めていくと、作者についての紹介が載っている本が那覇市立歴史博物館に所蔵されていることがわかりました。上江洲さんは1980年～90年代にかけ、多くの彫刻を制作、首里城歓会門前の石獅子も上江洲さんが復元されたものでした。

年に1度、個展等をひらき精力的に彫刻制作に取り組んだ上江洲さんの作品は現在でも県内各所で見ることができます。中でも浦添市のANASPORTS PARK 浦添(浦添運動公園)陸上競技場側に設置の作品には作品に込めた作者の思いもぎざまれています。

「一步一步、目標に向かって」この調査を締めくくるにあたりとても大事な言葉に出会えた気がしています。筆者は上江洲さんの作品を見て回りましたがどの作品も力強く逞しさのなかにも、包み込むような温かさを感じ、生きることへのエネルギーが伝わってきました。もしお時間があるかたは是非県内の上江洲作品を散策してみてくださいと思います。そのまゝに、まず、沖大にある作品をご堪能ください。

(経営企画室 玉城紀子)

沖縄県立博物館・美術館 美術館班主任学芸員豊見山愛さんのコメント

「沖縄県立博物館・美術館では残念ながら上江洲さんの作品を持っておりませんが、1995年の「沖縄戦後美術の流れ1(浦添市美術館ほか)」では、《向(むかい)》という作品を出品していただきました。高さ1m50cmほどの久米島石を使った、硬い石が風になびくようなウェーブが印象的な作品です。上江洲さんの彫刻は、石にたいする尊敬と愛のまなざしが感じられます。」

上江洲さんの元職場(株)沖縄大理石テラゾー 代表取締役神山明さんのコメント

「彫刻が好きで、真面目な性格、才能がある男だと感じていました。1つの作品に約1ヶ月かけて制作していました。彫刻の依頼がないときは、マンション等の門用のシーサーの型づくりなどを手掛けていました。」



上江洲 由郎さん

- 1955年 沖縄県に生まれる
- 1982年 住吉神社 石獅子 制作
- 1984-86-87年 沖展奨励賞
- 1985-86年 沖縄県芸術祭 知事賞
- 1989年 那覇市立天妃小学校100周年記念モニュメント 制作
- 1990年 首里城歓会門石獅子復元
- 1991年 浦添市総合運動公園モニュメント(「一步一步」) 制作
- 1992年 沖縄県議会議場龍柱 制作
- 1992年 糸満市市政20周年記念モニュメント(「翔」) 制作
- 1992年 県立那覇西高等学校卒業記念モニュメント(「育」) 制作
- 1992年 第一回街と彫刻展「相」 制作 ※現在は県営愛知団地に設置
- 1994年 那覇市楚辺古波蔵馬場跡に「宮古馬」 制作
- 1994年 「天衣」(宜野湾コンベンション通り) 制作

タイトル：my・舞
制作年：1985年か？
素材：南部石灰岩
賞歴：第38回沖展
彫刻部門にて奨励賞
(1986年3月29日～4月4日)



◆ News & Topics ◆

News & Topics
2019

12/24

男子バスケットボール部県大学選手権5連覇と九州リーグ2部昇格の報告

第24回沖縄県大学バスケットボール選手権大会において5連覇、第26回全九州大学バスケットボールリーグ戦において2部昇格を果たした、男子バスケットボール部の浦添建伍さんと饒平名剛さん、新垣真一郎監督が学長室を訪問し、優勝と2部昇格の報告を行いました。

News & Topics
2020

1/16

第2回OKIDAI THE 職人倶楽部開催『シニアソムリエ前森裕人さん』

沖縄で活躍する人のビジネスストーリーを伺い、人生100年時代を生き抜く教養や術を身につけるきっかけにと企画している「OKIDAI THE 職人倶楽部」講演会が学生食堂TER-RACE555にて開催されました。

第2回目の講師は、国内一流ホテルでの勤務を経て、シニアソムリエとして県内外で活躍している前森裕人さんをお招きしました。講演はソムリエのお仕事についての紹介のあと、実際にテイスティングの仕方や世界のワインの歴史と日本のワインの状況、そして泡盛の可能性などについても語られました。

News & Topics
2020

2/5

盛口学長が沖縄タイムス出版文化賞 児童部門賞受賞!!

第40回沖縄タイムス出版文化賞の表彰式・祝賀会が那覇市内のホテルで開催され、盛口学長が表彰を受けました!

News & Topics
2020

1/14

English Cafe
★お昼時間にスタート!

お昼時間を利用して気軽に英会話を楽しむ学べる機会を企画された『English Cafe』(毎週火曜日お昼休み時間)。国際コミュニケーション学科の学生やBarry Pollick先生も参加して楽しく開催しています。

News & Topics
2020

1/24

国際交流ランチ会
旧正月をまえに盛大に開催!

月に1度、留学生の交流の場にと国際交流室ではランチ会を開催しています。旧正月前日の開催日には書き初めコーナーも設置、学生たちは新年の抱負などを思い思いに書にしてみました。会場となった本館1階には、水餃子とぜんざいを求めて長い列もできていました。

News & Topics
2020

2/14

第12回琉球弧研究支援
最終報告会 開催

地域研究所が主催する琉球弧研究支援制度を利用し、1年間研究を行った学生たちの最終発表会がアネックス共創館で開催されました。今年度は21の個人・グループが研究に取り組み、現地調査等を行いました。テーマは観光業や歴史・文化、地域おこし、学童保育の必要性、こどもの貧困について等多岐にわたり、それぞれの発表に参加者からは質問も多く寄せられていました。



研 究 の ひ ろ ば & わ が ゼ ミ ナ ー ル

それぞれの“歴史”

私のゼミでは、“歴史”をテーマに研究を行っています。学生たちの個性や想像力豊かな発想に期待して、「“歴史”であれば、どんなテーマでもよい」と伝えています。その結果、学年ごとに全く異なるテーマを持つ、不揃いなゼミになってしまいました。

2年ゼミは、地域社会コース1期生ということもあってか、私の専門である琉球史を学びたいという学生が初めて登場したゼミでもありました。沖縄の苗字が地名と関係していることに着目し、学生自身の苗字について研究させました。その成果をゼミナール大会や琉球弧研究で発表してもらい、2年生ながら難解な漢文で書かれた家譜資料の解説に成功しました。

3年ゼミでは、各人が自分の好きなテーマの歴史を掘り下げて発表しました。例えば、「仮面ライダーの歴史」、「ジャニーズ事務所の歴史」、「沖縄の“ゆるキャラ”から見る地域の歴史」、「映画に見る朝鮮王朝の歴史」など、個性豊かなテーマが集まりました。



一人一人が初めてのプレゼンテーションにチャレンジし、今では全員が相手の意表を突く質疑応答をこなすまでになりました。

4年ゼミでは、1年という短期間で、全員が一つの

テーマを共同で掘り下げる「卒業制作」に挑戦しました。テーマは「タイの歴史」です。設定理由は、「タイに行きたいから」という学生の要望でした。全員で各章を分担し、一本の論文に



仕上げていきました。途中、何度も挫折しそうになっていましたが、全員で協力し、どうにか完成させることができました。残念ながら、2月末に予定していたタイ旅行は、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいましたが、卒業制作によって団結力は高まったと思います。

このように、2019年度は学年ごとに異なるテーマに挑みました。どのようにすれば学生たちに“研究の楽しさ”を伝えられるのか、試行錯誤の日々が続きました。特に後期は、1年生20名、2年生18名、3年生14名、4年生11名、研究生1名の大所帯でしたが、学生たちのパワーに支えられ、どうにか乗り切ることができました。

経法商学部 経法商学科 准教授

前田 舟子



人文学部
国際コミュニケーション学科 教授
黒木 義成

沖縄大学の特色の一つとして、「教員免許状の取得」をあげることができる。その中でも、中等教育に係る免許状は、「経法商学科（社会）・福祉文化学科（体育）・国際コミュニケーション学科（英語）」の学生が任意で免許状取得を目指して日々、頑張っている。これまでも多くの学生の皆さんが本学で教職免許状を取得し、現在、学校現場で活躍されている卒業生も多い。

ここ数年、教育に関する多くの問題が提起され、その改善に向けた努力が各自治体で行われている。中でも、30名～40名で形成されている学級を運営していくことが、近年、非常に困難な状況となってきている。年齢に関係なく、学級崩壊の危機に見舞われている教員もいれば、「いじめ」や「不登校」等、いわゆる教育課題への対応に追われている教員もいて、その対策が急務となっている。

沖縄大学の中等教育では、令和元年度から「福祉文化学科」と「国際コミュニケーション学科」で教員免許状取得を目指す3年次の学生11名で合同の「教職ゼミ」を実施している。「教職ゼミ」では、主として学級の具体的な経営方法について、直接、学校現場へ出向いて観察し、学校

学科間を連携した
「教職ゼミ」

長を中心とした現職教員との意見交換を行いながら、自身の学級経営観を身に付け、さらに在学中に、「学級経営案」を自力で作成する力を身に付けることができることを目的としている。そのためには、一つの学科での考え方だけではなく、他教科を含めた複数学科での意見交換や授業観察の視点を互いに学び合うことが大切であると考えている。現在、那覇市内の中学校を中心にボランティアとして「生徒指導」や「学習指導」に係る支援を主体的に参加している学生もいる。今の子どもたちの状況に合わせた教育を在学中に実感させ、教科の専門性を磨くと同時に学級を運営する力を身に付けさせることで変化の激しい社会に主体的に関わり、課題を見出し、積極的に解決することのできる教員育成を目指すのが「教職ゼミ」の魅力でもある。



広報誌創刊から40年...

あの人はいま

沖縄大学は1979年4月に創刊号が発刊されて今年度で創刊40年目を迎えました。これまで広報誌に掲載された方のいまを紹介する企画「あの人はいま」。今回は1993年経済学科経済学コースに入学された「若月元樹」さんを紹介します。

若月さんは現在、高知県にある「むろと廃校水族館」の館長をされています。廃校を利用した水族館は2018年4月のオープンから話題をあつめ、入館者数は1年で17万人を記録し、全国から注目を集める水族館となっています。大学時代からの熱意が現在の館長職に活かされていると話す若月さんにお話を伺いました。

Q 広島出身の若月さんが沖縄大学への進学を決めたのは

思いついたらやってみよう、そしてコストを抑えて実現しています。これまでの私の経験を放出しているところから、常にながら売れているかに情報のアンテナを張っています。若者がなにに興味を持っているのか、マーケティングは常にしています。館長としての心はいろいろある、私の役目はいろんな場所へ行き宣伝することだと思っていますので、あちこちに飛び回っています。

Q アイディアや戦略について

学校というのは母校でなくても、懐かしく感じる存在なので、置いてある備品などを見て懐かしさという気持ちになり、また今の子どもたちには見たこともないノスタルジックな部分もあり家族で大喜びできる場所、若者男女が集える場所になっていきます。

Q むろと廃校水族館について

高知県室戸市にある水族館です。室戸という二ノコースでは台風が上陸したときに高知県の取材場所になることくらいにしか話題にならなかった町が、水族館で有名になりました。オープン1年目の年はメディアの取材が美ら海水族館を超えました。スタッフはオープン時4人から2年目は7人に増やしました。地域の人も喜んでいきます。



大学時代は毎日図書館のこの席で新聞に目を通していました。



1997年4月号
広報誌(第70号)掲載記事

ウミガメは陸に住んでいたカメが海へ進出したものです。大きな甲羅も水の抵抗を受け難い流線形になりました。ウミガメは1年で平均100個前後の卵を、3回から4回に分けて産卵しますが、卵を育むスペースを体内に確保するため、産卵を控えたメスは断食し、胃と腸をべちゃんこにします。そのようなウミガメの生態等に興味湧き、没頭して



母親が沖縄出身で沖縄に住んでいた祖母の誘いで沖縄大学への進学を決めました。祖母の名前は「カメ」と言います。祖母のアイデンティティが私の沖縄の知識を広げ、沖縄での大学生生活をとても充実させてくれました。海や山、離島へ通う日々の中で大学在学中に糸満でウミガメの産卵をみて、それからウミガメ研究に没頭したのです。卒業後一度はサラリーマンになりましたが、やはりウミガメから離れることができません。3年で辞めて大学院へいきウミガメの研究をしました。



大学院に3年、その後日本ウミガメ協議会に入り、八重山黒島で研究を重ねて15年。高知県室戸市のウミガメ産卵地で、国土交通省が産卵に影響のない橋を架けたりという事業で室戸と関わりがあり、その時に漁業(特に定置網)が盛んでウミガメがよく獲れることがわかり、黒島研究所に赴任する前に室戸に7ヶ月ほど滞在したことがありました。そのときにお年寄り、素敵な言葉などを聞き取り、素敵な言葉を紡ぐお年寄りたちに惹かれて、こんな面白い場所を離れるのは

Q 卒業後から館長になるまでのお話

美ら海の館長が書いた論文に「人口密度が低い地域に産卵が多い」とありましたが、那覇に近い糸満でなぜ産卵するのか疑問で調べました。理由の一つ目には戦争があったからではないかということに辿り着きました。激戦地なため夜釣りをしない、ビーチでバーベキューをしない、地元のお祭りが近づかないことが理由ではないかと。それらを深く掘り下げた思いでした。

Q 沖大に期待すること

水族館というのは、大きな水族館が多いです。小さな施設には小さな役割があると思っています。廃校水族館も小さい分とても便利な点があります。チャレンジできる場所です。沖縄は観光立県です。沖繩は観光立県です。沖繩にはチャンスがあると思います。沖大生にはチャンスを活かし、可能性をひろげて欲しいです。

オープン前には市民から反対の声も多くありました。これでもかというかと説教されたり、「この計画には納税者として反対だ」などなど。しかし、今では地元の人々も足を運ぶ大成功な廃校水族館となっています。楽しく廃校水族館をやっています。

もったいないなと感じていました。廃校を活かして、黒島で培ったノウハウを室戸市でなにかできないかと、プールでウミガメを飼育する水族館計画がスタートしたのです。5億円の費用(改修費用で3億5千万円)、どんな小さな水族館でも海水を使うと20億はかかると言われていました。沖繩の魚を飼育したほうがいいと最初は市側から話があったのですが、私は反対しました。高知県のそのへんの魚でよいと思ったのです。それは沖大祭の経験です。学園祭で教室内水族館をしたんです。その経験から地元の魚が、うけるだろうと思います。

Q 今後の目標や夢について

日々楽しく生きるだけです！大変なこと？好きでやっているのだからありませんよ。やはりこれは全国の議員が視察にくるんです。最初は評価されないかもと言われた廃校水族館が、地方の活性化のお手本となっています。水族館の目標はワクワクしながら来てもらえる水族館であり続けることです。その期待に応えるためにまずは私やスタッフがワクワクしながら楽しく生きながら、そんな楽しい場所でないといけないと思っています。それが日々の目標です。

若月 元樹 さん

- 1997年 3月 沖縄大学卒業
- 1997年 4月 住宅会社へ就職
退職後大学院へ進み、
NPO 黒島研究所勤務
(現在に至る)
- 2018年 4月 むろと廃校水族館館長(兼務)



学生時代は講義にはとてもやる気があり、席は1番前に座っていましたが・・・寝てました(笑)

新入生へのメッセージ



経法商学部長
若林 千代

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんをキャンパスにお迎えすることができ、教員一同、大変うれしく思っています。

大学生活を通じて、一生涯の支えとなるような知的な土台を作っていただきたいと願っています。同時に、ともに支え合う仲間に出会い、交流し、そのなかで、自分自身を成長させる多くの気づきを得てほしいと思います。

皆さんは、経法商学部への名称変更後、初めての入学者です。一人ひとりが、人間として、市民として、思いやりをもってさまざまな人々と助けあい、学びあい、生きる場としての「地域」を作る主体となってほしいと思います。皆さんの学びの日々が充実したものであるよう、教員一同、心から願っています。



人文学部長
宮本 晋一

皆さん、入学おめでとうございます。

理想的未来は自分自身の中にあり、同時に、それを達成に対する課題もまた、自身の中にあります。入学後はどんなに小さな疑問や課題もすぐに取り組む気持ちと「自分で考える、自分で調査する、自分で判断決定する、最後までやり遂げる」。この自主確立・四戒を基準に精進してください。私たちも新しい物の見方・考え方が習慣化できるように支援してまいります。

つねに他人と一味違う創意・工夫された大学生活となることを願っています。



健康栄養学部長
山代 寛

ご入学おめでとうございます。

新型コロナウイルスによる感染症が危惧される中、入学式は中止となりましたが、人々の健康を守る管理栄養士をめざすみなさまにとって、これからの人生の土台となる4年間のはじまりとして、忘れることのできない門出になることと思います。

食と栄養の面から地域の人々の健康を支える専門家になることを目標に自分を失うことなく、しっかり頑張ってください。

みなさまの成長を楽しみにしております。



経法商学部経法商学科長
豊川 明佳

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんの未来には、無限の可能性が広がっています。大きな理想を持って、充実した大学生活を送ることを期待しています。

日本と世界は変化の時代を迎えており、私たちはその変化に対応していかななくてはなりません。そのためには、社会のあらゆる課題を発見し、物事の本质を正面から見抜き、自分自身でその課題を解決する能力が求められています。

経法商学部は、皆さんの可能性の芽を伸ばし、開花の手助けをする知の拠点です。しかし大学は勉強を強制するところではありません。受け身ではなく、自らの強い意志で学びに向かい合い、様々な挑戦してください。皆さんが着実に実力を蓄え、飛躍し、自らの夢を実現することを心から願っています。そのために私たち教員も全力でお手伝いしていきます。



人文学部
国際コミュニケーション学科長
樋口 耕太郎

沖繩大学は「鳥の学校」である。皆さんは、「飛び方を学ぼう」と考えているかもしれないが、それは間違いだ。なぜならば、皆さんは、ペンギンかもしれないし、ダチョウかもしれないし、伝書鳩かもしれないからだ。問題は、私たち教師、ご両親、そして、実は皆さん自身も、自分がどんな鳥かまだよくわかっていないということ。

もし、あなたがペンギンなら、ダチョウの親友の真似をしても、伝書鳩の両親に憧れても、幸せにはなれない。自分が何者か？ その答えを見つける4年間であってほしいと心から願っている。



人文学部福祉文化学科長
高良 沙哉

福祉文化学科の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから大学生活という新しい環境の中で、初めて出会う学問や人々、皆さんはたくさんの新たな刺激に恵まれることでしょう。

私が大学時代の4年間で最も貴重だと感じたのは人との出会いでした。特に大学の先生から、学問に対する謙虚な姿勢や、学ぶことを通じて得られる精神的な豊かさを学びました。大学の時に得た学びは、今でも社会人としての自分の基礎になっています。

皆さんの大学生活が有意義なものになるよう学科教員一同全力で応援します。



人文学部こども文化学科長
宮島 基

ご入学おめでとうございます。

皆さん「目標」はありますか。こども文化学科だと、先生になりたい人が多いでしょうか。もちろん「目標を見つけることが目標」でもいいと思います。

大学では、新しい世界との出会いや常識を覆すような学びが数多くあります。その中で、きっと「目標」も更新されるはず。在学中の先輩たちも、入学後に見つけた新しい「目標」に向かって日々努力しています。いま小学校などで活躍している卒業生たちも、そうやって成長して来ました。新入生の皆さんも、大学での学びを通して自分の「目標」が見つかるといいですね。



健康栄養学部管理栄養学科長
國仲 小織

昨年度、沖繩大学に県内初の管理栄養学科が新設され、第2期生を迎えることになりました。管理栄養学科 新入生のみならず、ご入学おめでとうございます。

みなさんが沖繩大学で学び、卒業後に「栄養・食を通して、人々の健康と幸福に貢献する」という管理栄養士・栄養士のキャッチフレーズ通り「栄養学を学術的基盤とし、栄養・食を手段として、さまざまな人々の健康と幸福に寄与する専門職」として社会で活躍する未来のために、学科教職員で全力サポートします。



大学院現代沖繩研究科長
宮城 公子

進学おめでとうございます。

勉学の道へ果敢に進み出てください。皆さんの中には、社会人、留学生、退職後学び直しの熱意に燃えているなど、多様な方々がいらっしゃるので、大学院での研究や論文執筆を修了した後も、研究者になる、また、地域づくりに関わるなど、これも様々だと思います。

どのような選択肢を将来選び取るうとも、大学院での日々が皆さんの人生にもたらす果実は貴重なものになると信じます。皆さんの勉学を支えられれば大きな喜びですし、皆さんからこちらが学ぶことも多いでしょう。互いに切磋琢磨していきましょう。

2019年度寄附金報告

2019年4月1日から2020年3月10日までの間にいただいた寄附について以下のようにご報告いたします。このご厚意を大切に、有効に使わせて頂きたいと存じます。ご寄附をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。
総額22,224,010円(総額については、匿名希望者のご寄附も含めた金額です。)(金額順・五十音順)

(寄附者内訳)

冠奨学金

株式会社沖繩銀行 様	1,750,000円
株式会社琉球銀行 様	1,750,000円
株式会社沖繩海邦銀行 様	1,050,000円
沖繩電力株式会社 様	700,000円
那覇空港ビルディング株式会社 様	700,000円
沖繩ビル管理株式会社 様	350,000円
オリオンビール株式会社 様	350,000円
公益財団法人金秀青少年育成財団 様	350,000円
株式会社OCS 様	350,000円
e-no株式会社 様	350,000円
福山グループ 様	350,000円
株式会社ピースアイランド宮古島 様	105,000円
株式会社琉球ホテルリゾート八重山(アートホテル石垣) 様	35,000円
石垣空港ターミナル株式会社 様	35,000円
株式会社紫電舎 様	35,000円
株式会社とみや商会 様	35,000円

株式会社双葉建機 様	35,000円
共和産業株式会社 様	35,000円
大和電工株式会社 様	35,000円
丸尾建設株式会社 様	35,000円
宮古港運株式会社 様	35,000円
八重山観光フェリー株式会社 様	35,000円
八重山港運株式会社 様	35,000円

真栄田幸子 様	10,000円
毛利孝雄 様	10,000円
石川丈正 様	5,000円
大森潤之介 様	5,000円
謝名孝雄 様	5,000円
備瀬知晶 様	5,000円
屋富裕繁幸 様	5,000円

個人

新崎恵子 様	500,000円
仲村渠哲勝 様	100,000円
高良謙隆 様	50,000円
高良マサミ 様	50,000円
仲村芳信 様	20,000円
川満廣吉 様	10,000円
久高將光 様	10,000円
真栄田義雄 様	10,000円

大学関係

沖繩大学後援会	8,640,000円
沖繩大学教職員	2,944,000円
沖繩大学同窓会	740,000円
沖繩大学支援同志会	540,000円